



長慶子	舞楽 納曾利	童舞 辺陵頻	二部
-----	-----------	-----------	----

陪臚	越殿楽	大管絃 平調音取	舞楽 萬歳楽	一部
----	-----	-------------	-----------	----

広島雅楽会結成50周年記念演奏会

2025年6月1日(日) 会場/上野学園ホール
広島県広島市中区白島北町19-1 [広島県立文化芸術ホール]

チケットのご購入は
イープラスまで



イープラス 検索

開場 14:00 開演 15:00 チケット¥3,000(全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮ください

広島雅楽会結成50周年記念演奏会

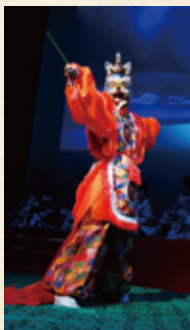


楽縁 ～ともに響きを～

「雅楽」と聞いて、どのようなイメージを持っておられるでしょうか？
宮中や神社などを連想される方も多いのではないかと思います。
しかし実は「雅楽」は、仏教と密接に関係しております。今から約1400年前（飛鳥時代）の昔、中国や朝鮮半島から、仏教とともに日本へ伝わりました。平安時代に入ると、日本独自の様式に整えられ、そこから約1200年もの間、形を変えることなく今日まで受け継がれており、現存する世界最古の合奏音楽（オーケストラ）と称されています。日本の寺院では、仏さまを讃える音楽、「お浄土」を表す音楽として、法要や儀式の際に演奏されてきました。

「雅楽」は、管楽器3種類（鳳笙・篳篥・龍笛）、絃楽器2種類（楽琵琶・楽箏）、打楽器3種類（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）の計8種類の楽器で構成されている音楽です。これらの「音」にはそれぞれに個性があり、演奏者が奏でる一つひとつの「音」がつながって、曲となっていきます。

広島雅楽会は、「雅楽」を通じてこれまで多くのご縁をいただきました。そのご縁を大切に、皆さまに支えられながら、結成より50年を迎えたこの度の演奏会。結成初期の会員の子が入会するなど年齢層が豊かになる中でも、未来へ繋いでいくために受け継がれてきた「音」。その「音」が鳴り始めるまでの所作から演奏後の静寂まで、約1200年前の人々も聴いていた「雅楽」の響きで会場全体が、一体となれるような時間を皆さまとともに過ごしたいと思っております。このように「雅楽でつながったご縁を



大切にその音の響きを会場全体で共有したい」との思いから、この度の演奏会のテーマを『楽縁～ともに響きを～』にしました。悠久なる「雅楽」の響きを聴きに、ぜひお越しになってみませんか？

広島雅楽会とは

広島雅楽会は、主に安芸教区在住の浄土真宗本願寺派特別法務員資格を有する僧侶で構成されています。広島雅楽会が5人の有志により結成されたのは、1975（昭和50）年のことです。親鸞聖人が開かれた浄土真宗（本願寺派）の本山、京都・本願寺で声明と雅楽を学んだ者たちが胸に抱いた「雅楽を続けていきたい」「この素晴らしい音色をもっと多くの人に届けたい」との熱き想いにより、広島雅楽会の歩みが始まりました。それから50年、多くのお寺の法要儀式に出勤し、お浄土の音楽である雅楽の響きと声明をお供えさせていただいております。また、福祉施設・学校等、多種多様な場での演奏活動も続けてきました。そして、結成15周年より5年毎に演奏会を開催させていただき、この度、結成50周年を迎え、上野学園ホールにて演奏会を開催させていただきます。雅楽の響きを、皆さまとともに！



会場のご案内

上野学園ホール

広島県広島市中区白島北町19-1
[広島県立文化芸術ホール]

自動車をご利用の方
山陽自動車道「広島インター」から広島市内方面へ、アストラムライン高架に沿って白島駅前。駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。近隣店舗への駐車はご遠慮ください。

